

＜PGI 学術講演抄録＞※無断転載を禁じます

『患者さんに喜ばれる低侵襲インプラント』

尾関 雅彦

昭和大学歯学部インプラント歯科学講座 教授



本邦における歯科インプラントの加速度的な普及と超高齢社会の到来とともに、インプラント治療の新たな潮流として、患者さん目線に立った“患者中心型のインプラント治療”が提唱されるようになってきている。この患者中心型インプラント治療の中で近年、移植手術をできるだけ回避してインプラントを埋入する“低侵襲インプラント”が注目されている。

そこで今回の講演では、演者が行っている低侵襲インプラントのさまざまな症例や手技を提示するとともに、包括的かつ低侵襲性にインプラント治療を行うための勘所について講演する。

【講演内容】

- I. 垂直的な骨量不足の症例に対して
- II. 水平的な骨量不足の症例に対して
- III. 包括的な低侵襲インプラント治療

今回の講演に御参加頂いた先生方のインプラント臨床に、少しでも参考となることがあれば幸甚に存じます。